

安楽寺報

平成三十年度
春彼岸会・永代経版
脇町安楽寺
0883-63-2015

春季彼岸会・永代経法要のご案内

日時 平成三十年三月二十日(火)
午後一時始

場所 脇町安楽寺本堂

午後一時永代経読み上げ

午後一時半法要

法話 龍田 智師
本願寺派布教使
(愛媛県今治)



朝食の用意が来ています
お早めにお越し下さい



仏教婦人会連盟大会おしらせ

徳島県仏教婦人会連盟総会

並びに門信徒研修会

日時 平成三十年六月十二日(火)
午後一時半始

場所 美馬安楽寺本堂

- 一、総会
- 二、研修会 音楽法要
- 三、法要 指導 安楽寺若坊守千葉聡子

参加費 一名五〇〇円 参加希望者は5月
中にお寺まで(0883-63-2015)
徳島西組が当番です。ご協力お願いいたします。

第六十一回中・四国地区仏教婦人会大会

日時 平成三十年八月三十日(木)
午前一〇時～午後三時

会場 アステイ徳島(徳島市山城町)

テーマ「いのち・つながり・縁」
講師 菅原文子さん 気仙沼市「すがとよ酒店」

東日本大震災の津波被害で、夫、義父母を亡
くし、酒店は壊れた。津波で行方不明になった
夫に宛てた手紙「あなたへ」が恋文大賞を受賞。
各地で震災体験を講演している。

法話楽団 迦陵頻伽(かりようびんが)

参加費 一名三五〇〇円(昼食費・バス代込み)
バスが出ます四州教区が当番です。受付6月中

浄土真宗寺院の法要の第一は報恩講であるが、次いで重要になつてゐるのが永代経と言へる。しかし、その歴史は意外に新しく、江戸中期頃と言われている。安永3年の記録に永代経の文字が見られ、この頃から本山で勤まるようになった。真宗寺院の永代経で特筆すべきは、年に一回ないしは二回の座を開いて行われるところにある。これは永代経が、他宗のようにならぬ、善回向する意味ではなく、故人を縁として、自身に参詣し、故人を追慕し報恩の営みをなすとともに、自身が深いことと思はれる。

ある方が思いを述べられる「自分の先祖とのこのころの出会いとは、先祖の声なき声を聞く事であつて、言葉のあはれ、それは自分自身のいのちのこを寄せることであつて、そのいのちのつなぐをたぬるのちへと繋がつて欲しい」と。

追善供養してやるのではなくて、喜んで敬いの心をもつて永代経を勤めさせていただくのは人生の第一歩である。

お念仏と共に歩んだ人生を先祖と共に重ねる中から、報恩感謝の人生を重ねる中から、私的な人生のことに気づかすように、経の一言一語、永代に亘つて、経の一言一語、多くかされて、信をいたさく、多くあり、信をいたさく、贈り物にないばの願いを込めて、永代経のお勤めです。

お釈迦様のお涅槃は、1如月の望月の頃、旧暦の2月15日のといわれています。その涅槃頃に咲く「涅槃桜」が、赤門に入ったところに咲いています。



平成35年(2023年) 親鸞聖人御誕生850年法要 立教開宗800年慶讃記念法要

法要を勤修するに当たり、記念事業を計画しています。お慶びの法要です。お迎えの準備を薦めています。懇志進納よろしくご協力お願い致します。

郵便振替口座01650-8-23620 安楽寺護持会(加入者負担)ご利用下さい

春お彼岸の季節となりました。苦悩と共に歩む人生ですが、目指す所は極楽のお浄土、お念仏の呼び声「なもあみだぶつ」にむかつて、「なもあみだぶつ」と答えながら、報恩感謝の人生を歩ませていただきましょう。信心を確かめる「聴聞」を欠かさないようとの法要です。お誘い併せてお参り下さい。お手伝い帳が出ています。ご無理のないところでご協力願います。お手伝いは、火災保険料、法要費、建物維持費に充当致します。春は、婦人会の会費一戸 2,000 円も併せてお願い致します。昼食の用意をしています。お早めにお越し下さい。

安楽寺仏教壮年会主催 勉強会に参加しましょう

毎月第2土曜日午後7時～8時半
奇数月は美馬安楽寺
偶数月は脇町安楽寺

持ち物 門徒式章・念珠・安楽寺門徒勤行集
門徒必携「み教えと歩む」
無料 いつからでもの自由参加です